

みんなで楽しく鑑賞

劇団コロロ「三匹の子ぶた」公演

児童たちに優れた芸術を直接鑑賞してもらい豊かな感性を育んでもらおうと五月三十一日、島根県児童演劇地方公演が横田コミュニケーションセンターで行われました。

今年は大阪の劇団コロロを迎えて、「三匹の子ぶた」が公演され、横田地域の小学生約四百名が鑑賞しました。誰もがよく知っている「三匹の子ぶた」のお話が歌で構成され、大阪弁でとてもしるおかしくアレンジしてあり、子ぶたとオオカミの迫力ある演技で児童の心をひきつけていました。



▲ 演劇の様子 児童たちは熱心に見入っていました

劇の合間には、大阪弁でのトークや漫才も飛び出し、子供たちは手をたたいて大喜び。あつという間の一時間半でした。

会場は、終始大きな笑い声が

と拍手につつまれ、熱気いっぱいでした。仁多地域では、六月三十日に町民体育館で開催する予定です。

二百名が参加

一味同心塾で仁多米づくり体験

著名な料理研究家・中村成子先生が館長を務める「ふれあい交流館・一味同心塾」で、無農薬の仁多米づくりに取り組む体験交流が五月二十八日、行われました。

この体験交流は、中村先生が全国に誇れる仁多米を通じて農山村社会の良さを伝え、都市間交流を広げようと地元の方に呼びかけ結成した「仁多米づくり実行委員会」により毎年実施されています。地元の上阿井・内谷田植囃子ばやし保存会による花田植えが優雅



▶ 花田植えの披露

に披露される中、町内外から集まった約二百名の参加者は、花笠に緋の着物を身にまとった早乙女につづいて水田に入り、コシヒカリの苗を丁寧に植えました。

今年は、兵庫県、広島県から島根県観光キャンペーン当選者や東京都から中村先生が主宰する料理教室の生徒も参加しました。

この水田で獲れるお米は「稲のはな」と命名され、みんなで収穫まで大切に育てていきます。秋には、黄金色の稲が豊作となることでしょう。

島根リハビリテーション学院の一年生も 田植えに挑戦

島根リハビリテーション学院では、今年度から自然に親しみ共感の力を育てようと「協働力実習」の科目を新設しています。

五月十八日、学院の一年生六十九名全員がこの科目の的一环として、町内の水田で手植え



▲ 田植えに挑戦する学生

による田植えに挑戦しました。学生は、五・五呷と三呷の水田に先ず苗を植える線を引き、横一列になりもち米「このえもち」と「コシヒカリ」を植えました。

手植えは初めての学生が多く、またぬかるみに足を取られたりしましたが、地元の方からこつを教えてもらいながら取り組みました。

約二時間後には田植えが終わり、みんなで植えた苗は水田にきちんと並んでいました。奥出雲ならではの科目に学生からは「初めての貴重な体験になりました」、「腰が痛くなったけど、みんなでできて楽しかった」などの声が聞かれました。

今後、田の草取り、稲刈り、脱穀など仁多米づくりの一連の作業を体験し、秋には収穫祭を行う予定です。